

シリーズ 中学校武道

授業の充実に向けて 75

外部指導員の活用例 なぎなた

福島県会津若松市立第二中学校 教諭 永井 規雄

本校では以前、武道の授業は男女とも相撲を選択していた。会津地区では、中体連の大会としての相撲競技が盛んであり、武道の授業で相撲に興味を持った生徒が特設相撲部（大会出場のための臨時の相撲部）に入部し、大会に出場することも多く、授業と部活動との相乗効果が見られていた。しかし、本校には土俵がなく、相撲の醍醐味である土俵際での攻防を体験させることができずにいたことや、女子生徒の相撲への抵抗感が大きかったことから、代案を模索していた。

そのような中、武道の必修化を機に「なぎなた」を選択してはどうかという案が浮上した。会津は、平成7年のふくしま国体において、なぎなた競技の会場になり、それを機になぎなた競技が盛んになった経緯がある。本校の体育館はその会場にも

なり、選手強化のためになぎなた部もその時創設され、現在に至っている。

性別を問わずに取り組めること、地域（本校）に所縁の深い競技であることなどから、平成24年度よりなぎなたを導入することとなった。



授業の展開

会津なぎなた連盟から60本を借用して授業を展開し、全員が積極的に活動することができた

1 外部指導員活用にした経緯

なぎなたを授業に導入する際、本校の保健体育科教員になぎなた経験のある者はいなかった。福島県なぎなた連盟理事長兼会津なぎなた連盟会長の山本和子先生が市内に在住されており、スポーツ少年団で小・中・高校生を中心に教え、後継者の育成・選手養成に力を注いでおられた。本校のなぎなた部員もそのスポ少に所属し、山本先生の指導を受け、全国大会に出場する生徒も多くいた。

2 教員の役割と外部指導員の役割

文部科学省の事業である「武道等指導推進事業」を受け、地域の優秀な外部スポーツ人材を武道授業の指導者として招聘し、武道の特性に触れる学びが展開されることを切望し、実現に至った。

教員自身が初めて体験する競技であったため、山本先生がT1として前面に出て指導を行い、保健体育科教員はT2として、山本先生の助言を十分理解していない生徒への個別支援、用具の配付、安

3 指導の概要

全への配慮などを主に担った。指導対象は、平成24年度は1年生のみ、平成25年度は1・2年生とし、2年間で履修する計画で実施した（男女共修）。

(1) 全体の指導計画
指導計画作成にあたり、会津なぎなた連盟と学校関係者による授業実践委員会を設置し、事前の諸準備や授業案の検討、事後の検証等を行った。

また、予備知識なしで指導はできないため、初年度は、会津なぎなた連盟主催の指導者研修会に保健体育科教員が参加。さらに、地域の指導者との事前打合せを可能な限り行い、意思の疎通を図るよう努力した。

なお、指導計画例として、本校保健体育科の宗田昌史教諭が作成した「単元構造図」「単元計画」を、資料として次ページに掲げたので参考にしていただきたい。

(2) 指導上の注意点
なぎなた部員以外の生徒は、授業で初めてなぎなたに触れる生徒がほとんどである。そこで、まず武道とはどういうものか、さらに剣道や柔道に比べて認知度の低い「なぎなた」はどのように生まれたのか、そういった歴史的な背景について説明をいただいた。

また、オリエンテーションについては、冬期間の実施であることを考慮して、カーペット敷の多目的スペースで実施し、健康・安全と学習意欲の喚起に配慮した。

指導内容の中心は演技競技の「形」におき、基本動作を踏まえた一連の動きができ、二人一組による気剣体の一致を意識した打突と受けができるようになることを目標とした。

(3) 指導の実際
指導時間は1・2年とも6時間ずつとし、なぎなたの歴史や礼法、基本動作、形の習得を中心に指導することとした。用具のなぎなたは、連盟のものを毎時間借用させていただき、一人一本ずつ使

武道『なぎなた』単元構造図

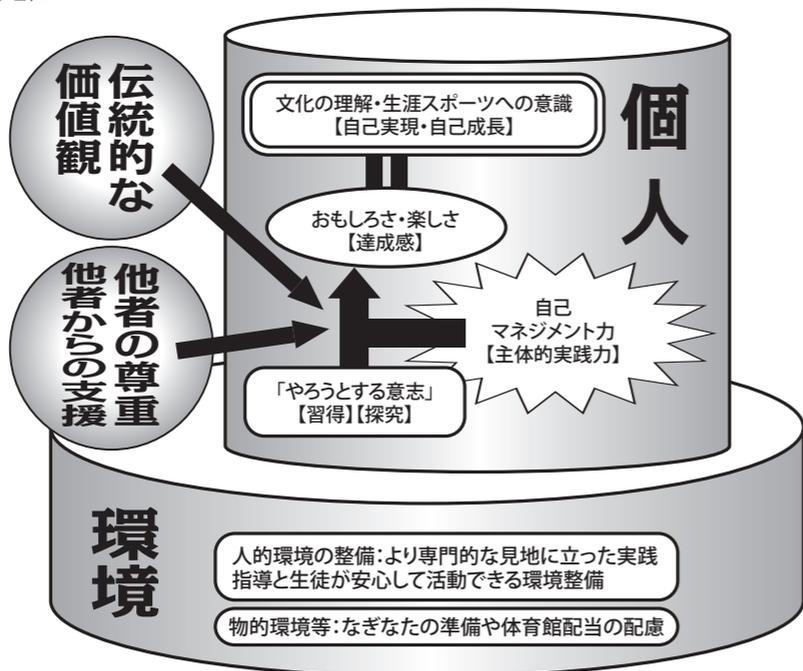
福島県会津若松市立第二中学校

1 単元構造図について

『楽しいなぎなたの授業 指導の手引』（財団法人全日本なぎなた連盟）に基づきながら、単元構造図を作成した。単元構造図のねらいは次のとおりである。

- * 日本固有の文化である武道（なぎなた）の特性をより有機的に生徒に習得させるための整理
- * 学習内容の精選及びその系統性の保持
- * 学習内容及び目指す生徒像の明確化

2 単元の構造化



3 単元の構造図

学年	指導内容の概要	授業のポイント
第1学年	歴史と心構え	・歴史的背景と本校OG選手の活躍 ・藩校日新館の教え ・新島八重の教え
	用具等の名称（なぎなたの構造）	・安全に対する意識強化 ・特色のある名称の理解
	基本動作 *姿勢（自然体） *礼法（立礼・座礼） *構え（中段・八相・脇） *体さばき（送り足・歩み足など）	・日常生活での姿勢の重要性 ・礼法の心構え ・立礼と座礼の所作とその違い ・構えの種類右手及び左手の位置 ・足のさばきと重心の移動
	技 *連続技（二段技・三段技） *形1本目・3本目・5本目（仕掛けと応じ）	・基本動作を踏まえた一連の動き ・気剣体の一致を意識した打突と受け ・相気の大切さと呼吸法
	演技競技の審判の仕方	・安全に配慮した場の設定 ・気剣体の一致を理解した有効打突の判定
第2学年	演技競技の審判の仕方	・安全に配慮した場の設定 ・気剣体の一致を理解した有効打突の判定

武道『なぎなた』単元計画

福島県会津若松市立第二中学校

1 単元のねらい

なぎなたの基本となる技能の習得と技の活用の仕方を身に付け、技能の程度に応じた練習を健康・安全に留意し、互いに協力して、計画的に進んでできるようにする。

2 単元の目標

技ができる楽しみや喜びを味わい、基本動作や基本となる技を習得する。

- なぎなたに積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方や礼法を守り、健康・安全に気を配ることができるようにする。
- なぎなたの持ちかえ操作など、身体とともになぎなたを扱う基本の操作法を学び、相手との関係の中で技を使えるようにする。
- なぎなたの特性や成り立ち、伝統的な考え方、専門用語や技の名称、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を考え、判断して行動できるようにする。

3 単元の評価規準

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> * なぎなたの学習の仕方を理解し、相手を尊重した態度でおこなうことができる。 * 礼儀作法を正しく理解し、自律的な態度をとろうとする。 * 用具や服装、練習場などの安全を確かめたり、練習をする上での安全に配慮しようとする。
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> * 基本動作を身に付けることができるよう、練習の中で打突の方法を身に付ける。 * 仲間と協力して、技を教え合いながら取り組むことができる。
技能	<ul style="list-style-type: none"> * 基本的動作を正しく理解し、気剣体一致の技を身に付けることができる。 * なぎなたの練習をとおして、特に瞬発力、筋力、全身持久力、調整力（巧緻性）などの体力を向上させようと取り組むことができる。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> * なぎなたの特性や学習の進め方を理解し、日本の伝統文化について考えることができる。 * なぎなたの礼法について理解する。

4 指導計画

時数	学習内容	学習目標	評価計画
1	*オリエンテーション	*なぎなたの授業の意義を理解するとともに、その歴史や文化に触れて関心意欲を高めよう。	*単元の見通しを持つことができる。 【思考・判断】 *歴史や文化について学ぼうとしている。 【関心・意欲】
2・3	*礼法及び基本動作の習得	*礼法を学び実践できる態度を養おう。 *正しい構えと体さばきを身に付けよう。 構え：中段・八相・脇 打ち方：振り上げ・側面打ち等	*礼法の意味について理解し、正しい所作を身に付けようとしている。 【知識・理解】【技能】 *正しい構えや体さばきなどを身に付けようとしている。 【技能】
4・5	*基本動作と連続技、技の組み合わせの習得	*八相の構えからの側面打ちやすね打ちを習得しよう。 *面・側面・すねを組合せての連続技の習得と、その受け方を身に付けよう。	*気剣体の一致で大きな声で正しく打つことができる。 【技能】 *互いに尊重し合い、教え合いながら技の習得に向けて取り組むことができる。 【関心・意欲】【思考・判断】
6	*評価とまとめ	*気剣体の一致に注意しながら、一連の流れで形を発表しよう。 *単元を振り返って、良かった点や改善点をまとめよう。	*互いに協力し合い、気剣体の一致で正しい動作で形を発表することができる。 【技能】 *真剣に考え、単元を振り返っての反省をまとめることができる。 【関心・意欲】【思考・判断】

本校では、今年度も11月から山本先生に来ていただき、なぎなたの授業を行う予定でいる。平成24・25年度の経験から、改善でき

5 今後の外部指導員活用について

それを解決するには、教師自らがなぎなたの高い指導力を身に付けなければならない。研修に出かける時間的余裕を生み出すのは現実の問題として困難である。

4 外部指導員活用における課題とその対策

授業を実施するにあたって、単位の時間の生徒数と活動場所の確保を事前により細かく調整し、学習内容の定着のための環境づくりを行わなければならない。具体的には、生徒数（1・2年生合わせて226名）に対して、外部指導者が来校して教えていただける時間が少ないことである。

6 まとめ

指導者である保健体育科教員自身、なぎなたについての予備知識や経験が全くなく、本当に指導ができるのだろうかと大きな不安を抱いた状態からのスタートであった。

外部指導員として来ていただいた山本先生が、「なぎなたは、なぎなたの修練により、心身ともに調和のとれた人材を育成する」とものという理念を説かれ、技能を身に付けるだけでなく、人間教育としての武道授業を展開してくださいとお願いがたかかった。

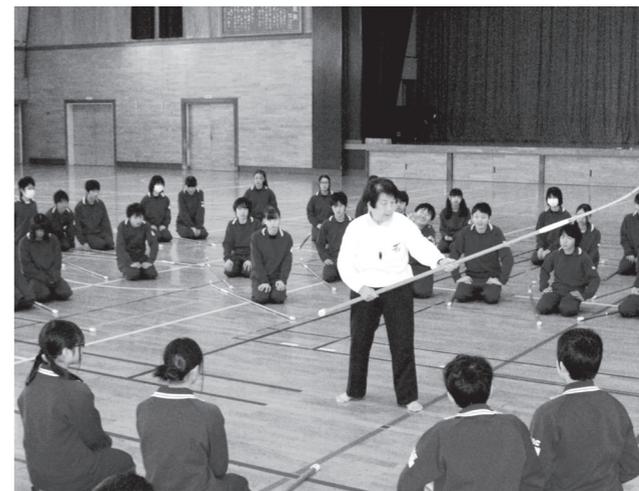
本校は会津白虎隊で知られる鶴ヶ城に大変近く、武士道精神の継承に相応しい環境といえる。武道選択種目として「なぎなた」を採用したことで、生徒にとって有意義な授業となったと思われる。



なぎなたを通じた、人としてあるべき姿や、望ましい人間像を提示する山本先生

授業後に行った生徒のアンケートより

武道に対する関心、意欲が高まった	69%
技能が高まった	74%
伝統的な行動や基本動作が身に付いた	83%



正座をし、姿勢を正した状態で説明に聞き入る

用して学習することができた。また、学習場所は体育館であったが、11月の実施であったため、ウォーミングアップ時に音楽をかけてのランニングや機敏に集合する訓練を行うなど、寒さ対策にも配慮して指導していただいた。1年生では一斉指導による基本動作の習得を中心に学習した。2年生では『楽しいなぎなたの授業 指導の手引』（財全日本なぎなた連盟発行）から抜粋した学

習資料を見ながら、グループ活動も取り入れて学習した。本県なぎなたの草分け的存在であり、現在も指導の中心となって活躍されている山本先生の卓越したすばらしい指導力により、男子生徒もなぎなたの特性にふれながら、秩序と規律を守りながら積極的に活動できた。さらに、なぎなたを通して、人としてあるべき姿や望ましい人間像を提示していただいたことが大変良かった。

快適で安全な都市空間の創造をめざす …東洋実業グループ

- ビルディング・トータル・マネジメント ●清掃等建築物の環境衛生管理
- 空調、電気、水系統等諸設備の運用、管理 ●警備、保安、駐車場管理
- 原子力セキュリティ及び施設メンテナンス ●工場、ダム等のセキュリティ
- 案内、受付他料金徴集業務 ●公園等のグリーンメンテナンス
- ビルメンテナンス用ソフトの開発販売 ●バイオ研究開発
- その他建築物の運用、管理に係る一切の業務



株式会社 東洋実業

代表取締役 横田 正弘

札幌本社 / 札幌市中央区北六条西22丁目250番14東実ビル TEL(011)612-1911(代)
 東京本社 / 東京都新宿区西新宿1丁目26番2号新宿野村ビル TEL(03)3345-0531
 営業所 / 函館・室蘭・苫小牧・千歳・恵庭・小樽・余市・岩内・石狩・岩見沢・旭川
 土別・富良野・占冠・帯広・北見・釧路・日高・遠別・深川・埼玉
 海外事業 / 株式会社東洋実業マレーシア / 東洋実業シンガポール PTE. LTD. / 東洋
 セキュリティ&ビルディング・マネジメント (香港) LTD./